

2023年度主要農作種子生産状況に関するアンケート調査結果

		16. 都道府県間連携について			17. 種子生産のための財源確保について		
		重要性について	現在の取り組みについて	今後必要とされること	財源確保について	国の制度等について	財源確保に関する提案・意見
1	北海道	重要と思う			重要と思う	必要	都道府県が行う種子の生産及び普及に要する経費について、引き続き地方財政措置が必要
2	青森県	重要と思う	一部委託・受託生産を実施している	気温上昇などによる栽培適地の変化、品質低下等の栽培面での情報共有	重要と思う	必要	稲、麦類及び大豆の種子に係る地方交付税措置を維持してほしい
3	岩手県		特になし		重要と思う	必要	特になし
4	宮城県	重要と思う	無し	不明	重要と思う	必要	
5	秋田県	重要と思う		当県で生産していない品種種子の県外委託生産	重要と思う	必要	特になし
6	山形県	重要と思う	本県開発の品種を奨励品種決定調査等に供試		重要と思う	必要	
7	福島県	重要と思う	一部奨励品種の採種を他県に委託している。		重要と思う	必要	無し
8	茨城県	重要と思う	無し	県間で種子生産品種を整理・分担すること。	重要と思う	必要	県、国ともに現状維持。
9	栃木県	重要と思う	品種比較試験データの共有 種子協会を通じた種子の融通		重要と思う	必要	補助事業等が充実すると良い
10	群馬県	重要と思う			重要と思う	必要	
11	埼玉県	重要と思う	他県との原種及び種子の融通	他県との原種及び種子の融通	重要と思う	必要	
12	千葉県	重要と思う			重要と思う	必要	
13	東京都						
14	神奈川県	重要と思う			重要と思う	必要	
15	新潟県	重要と思う			重要と思う	必要	
16	富山県	その他			重要と思う	必要	無し
17	石川県	重要と思う			重要と思う	必要	

		16. 都道府県間連携について			17. 種子生産のための財源確保について		
		重要性について	現在の取り組みについて	今後必要とされること	財源確保について	国の制度等について	財源確保に関する提案・意見
18	福井県	重要と思う	他県分の種子生産を担っている	福井県産種子の需要拡大	重要と思う	必要	主食用米の生産量の減少に伴い種子生産量も減少しているが、種子生産体制の維持は必要であるため、現状維持を含めた機械・施設等の整備に関わる支援が必要
19	山梨県	重要と思う	本県で需要に対して生産量が不足する品種の種子については、県内の団体が、他県で生産された種子を受け入れている。	上記取り組みの安定的な継続	重要と思う	必要	種子生産者の高齢化が進み、種子生産の担い手を確保することが難しい状況であるため、担い手を育成し、安定した種子生産を継続するためには、国の制度・財政的支援は必要。
20	長野県	重要と思う			重要と思う	その他	
21	岐阜県	その他			重要と思う	必要	
22	静岡県	重要と思う	自県産種子だけでなく他県産種子取り入れることで、種子の安定供給を図っている。		重要と思う	必要	無し
23	愛知県	重要と思う	県内だけでは生産できない種子については、他県と連携し、種子を確保している。	引き続き、他県と連携しながら種子の安定確保を図っていく必要がある。	重要と思う	その他	県の条例に基づき優良種子の生産と安定供給を図るため、県の種子関連の予算は継続して確保していく必要がある。
24	三重県	重要と思う	現在のところ、具体的に検討している案件はないが、必要に応じて検討していきたい。	現在のところ、具体的に検討している案件はないが、必要に応じて検討していきたい。	重要と思う	必要	県財政が厳しい状況にあるので、国の制度で財源を確保していただければ、大変ありがたい。
25	滋賀県	その他		今後主食用米の生産が減少する中、広域に種子生産を行う体制づくりが必要になると考える	重要と思う	必要	
26	京都府	その他	特になし	特になし	重要と思う	その他	引き続き国の地方交付税の措置を求める
27	大阪府	重要と思う	無し		重要と思う	必要	

		16. 都道府県間連携について			17. 種子生産のための財源確保について		
		重要性について	現在の取り組みについて	今後必要とされること	財源確保について	国の制度等について	財源確保に関する提案・意見
28	兵庫県	重要と思う	各県の需給状況によっては、生産した種子の売買が必要であるため、需給把握や種子生産計画作成の段階での調整	各県の需給状況によっては、生産した種子の売買が必要であるため、需給把握や種子生産計画作成の段階での調整	重要と思う	必要	種子生産産地では生産者の高齢化や施設の老朽化が進行している。人材確保や施設の更新等で支援が必要となる。
29	奈良県	重要と思う	不足種子分は県外委託により種子を確保		重要と思う		
30	和歌山県	重要と思う	水稻種子の採種を県外に委託		重要と思う	その他	種子生産を行っていく上で財源確保は必須と考える。
31	鳥取県	重要と思う	自県生産の種子が不足する場合に県外産を移入して利用。 自県生産を行わない品種の種子を県外から移入して利用。 他県の種子が不足する場合に自県生産種子を提供。	各県の需給バランスを調整できる仕組みがあると良い	重要と思う	必要	
32	島根県	重要と思う	必要に応じて連携	不測の事態が生じた場合の種子供給体制	重要と思う	必要	特になし
33	岡山県	重要と思う	一部、他県産の種子を購入している。	予定していた県内の採種量が不足する場合も予想されるため、必要に応じて他県産の種子を導入できる体制の整備が必要	重要と思う	必要	
34	広島県						
35	山口県	重要と思う	県内で採種を行っていない一部品種については他県に生産を委託し、計画的に種子の供給を行っているところ。気象災害等により計画通りの種子供給が困難となった場合、不足する種子を他の都道府県と円滑に調整できる体制は必要。	需給調整や種子事故発生時の対応等について検討が必要。	重要と思う	必要	地方交付税措置の継続等、都道府県が種子生産を維持・継続するための財源は必要。
36	徳島県		なし				

		16. 都道府県間連携について			17. 種子生産のための財源確保について		
		重要性について	現在の取り組みについて	今後必要とされること	財源確保について	国の制度等について	財源確保に関する提案・意見
37	香川県	その他（現状、実施の予定はない）			重要と思う	その他（国の制度制定の有無に関わらず、本県農業の基盤となる主要農作物種子の生産に 従来通り取り組んでいく計画である。）	
38	愛媛県						
39	高知県	重要と思う	特になし		重要と思う	その他：判断しかねる	
40	福岡県	重要と思う	・ 県外で生産が盛んな品種は県外に生産を委託（コシヒカリ） ・ 共通品種について、他県と連携		重要と思う	必要	種子生産体制の強化、種子の安定供給のための十分な予算の確保は必要。

		16. 都道府県間連携について			17. 種子生産のための財源確保について		
		重要性について	現在の取り組みについて	今後必要とされること	財源確保について	国の制度等について	財源確保に関する提案・意見
41	佐賀県	その他 主要農作物においては、現時点では必要ないが、飼料用米など種子の生産が国内の限られた産地でしか生産されていない品種については都道府県間での連携も今後重要となってくると考えられる。	検討中	検討中	重要と思う	必要	
42	長崎県	重要と思う			重要と思う	その他	地方交付税の措置等国が現状の制度を維持することは必要であると考えます。
43	熊本県	その他	県内採種が無い品種について、採種団体が需要に応じて他県から購入し種子を供給。また、不作等で供給不足が生じた場合にも近県から臨時に購入し、安定供給を維持している。		重要と思う	必要	

		16. 都道府県間連携について			17. 種子生産のための財源確保について		
		重要性について	現在の取り組みについて	今後必要とされること	財源確保について	国の制度等について	財源確保に関する提案・意見
44	大分県	重要と思う	気象災害等の影響で県内で優良な種子が十分に確保できない際に、他県で確保している種子を融通し合う。	現状の取り組みを維持していく。	重要と思う	その他 種子生産の状況が大きく変わった際は制度を定める必要があると思われる。	令和5年度の種子生産に係る県の予算は前年同程度（2,213千円）であり、種子法廃止前と同様に優良な種子の安定供給を続ける体制を維持している。
45	宮崎県	重要と思う	種子契約量確保できなかった際の供給	現体制で特に問題がないと考える	重要と思う	必要	現行の財源について、継続的に確保していくことが重要
46	鹿児島県	重要と思う			重要と思う	必要	種子生産関連施設の整備費用の補助について、生産者側から要望あり
47	沖縄県	重要と思う	現在、他県との連携取り組みは行っていない。		重要と思う		特に意見なし